

| 科目名  | 開講時期  | 必修・選択 | 科目区分 | 単位（時間）    | 科目責任者   |
|--|---|-------|------|-----------|---------|
| 法と暮らし  | 1年次 前期  | 必修    | 講義   | 1単位（15時間） | 増井 喜久士※ |
| 授 業 概 要  |   |       |      |           |         |
| 法とは何か、法が私たちの暮らしとどのように結びついているのか等、法に関する基礎的知識を学ぶ。特に、日本国憲法の概要と課題について基本的理解が可能となることを目的とする。   |   |       |      |           |         |
| 到 達 目 標  |   |       |      |           |         |
| 1. 社会生活における規範とその重要性を理解することができる。<br>2. 法の種類について、基本的知識を理解することができる。<br>3. 日本国憲法の概要について、基本的知識を理解することができる。<br>4. 日本国憲法に関する現代的課題について、理解することができる。 |   |       |      |           |         |
| 実務経験のある教員  |   |       |      |           |         |
| 増井 喜久士：弁護士の経験をふまえ、法と暮らしの結びつきについて概説する。  |   |       |      |           |         |
| 回  | 学 習 内 容   |       |      |           | 担当教員    |
| 1-8  | 1. 社会生活における規範とは？<br>法と他の社会的規範（道徳・倫理・宗教）との異同<br>2. 法の種類<br>1) 法とは何か？<br>2) 法の種類（成文法（法規）の種類、不文法の種類、公法と私法、実体法と手続法、法の効力の優劣、法の形式）<br>3) 法の分類<br>3. 日本国憲法の概要<br>1) 憲法の歴史<br>2) 三大原則（基本的人権の尊重、平和主義、国民主権）<br>国民主権と裁判員制度（模擬裁判）<br>3) 「人権」について<br>4) 統治機構（国家権力の三権（司法、立法、行政）、財政、地方自治、憲法改正）<br>行政（政治）と財政（経済）<br>4. 日本国憲法に関する現代的課題 |       |      |           | 増井 喜久士※ |
| 学 習 方 法  |   |       |      |           |         |
| 講義 グループワーク   |   |       |      |           |         |
| 評 価 方 法  |   |       |      |           |         |
| 科目修了試験   |   |       |      |           |         |
| 先 修 科 目  |   |       |      |           |         |
| なし   |   |       |      |           |         |
| 教科書、参考書  |   |       |      |           |         |
| [教科書]<br>系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 森山幹夫 著 医学書院   |   |       |      |           |         |